

[フロントライナー] Frontliner

株式会社日本保健衛生協会
東京支社
サニタリーグループ
発行責任者/東京支社サニタリーG

スタッフの皆さま、日々の勤務お疲れ様です。
皆さまのお陰で職場は清潔で快適な環境に保たれております、有難う御座います。

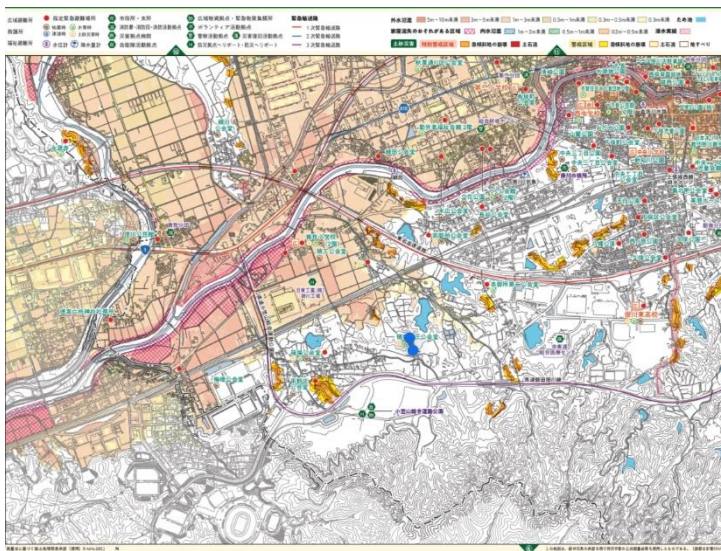
6月に入り雨が多く降り続きます。この時期は台風や梅雨前線による大雨で河川の氾濫・高潮により甚大な被害が毎年出ております。その様な自然災害時の出勤に関する判断・心備えはできていますか。備えは万全でしょうか。

6月7月は梅雨前線が活発になり、大雨や台風などの自然災害により公共交通の遅延、道路の冠水やがけ崩れが発生するなど通勤に影響が出ることがあります。

その際に通勤可能かどうかの判断基準を持っていれば、いざという時に慌てず判断することが出来ます。

○通勤経路内の危険箇所（冠水・氾濫・がけ崩れ・高潮等）の確認

自分が通勤で使用している道路や交通機関、及び住まわれている場所で自然災害による危険箇所の有無について予め把握しておきましょう。特に大雨によりもたらされる自然災害(道路の冠水・河川の氾濫による洪水・がけ崩れや土石流・海岸付近の高潮)は地震や竜巻よりも被害にあう可能性が高いので要注意です。



これは掛川市のハザードマップで、自然災害が起こりやすい箇所が色別に明記されております

○地名から危険個所を推察する

地名の中には、過去の地形の形状や自然災害が起こったことからつけられたものがあります。

『水』に関係している地名:川・池・津・洲・沢・湧・浅・深・崎・戸・竜・谷・肘・蒲

また、過去に起こった自然災害を表す漢字も有ります。

洪水や氾濫などの水害:竜・龍・蛇・押・萩・鶴・蕨・梅・菅・赤・合・馬・安

土砂崩れや地滑り:柿・久保・倉・灘・駒・鷺・桜・柳・久留・猿・暮・端・牛・椿

液化化:梅・田・新田

津波、高潮:浦・江・女

上記の中に桜・柿・猿・椿・萩といった文字がありますが、どれも水を連想させる漢字では有りません。

例として桜:サクラ『裂ける』、柿:『欠ける・欠く』、猿:サル『曝す・ずれる』、椿:『つばけるが変化』などがあり

漢字の読み(音)を災害や危険地形に当て込んでいる場合が有るので要注意です。

地図を読み解いていくと、ハザードマップでは危険個所ではないものの漢字に秘められた未知の暗示が見えてくるかもしれません。

○気象庁・地方自治体の警戒レベル

豪雨や台風などの自然災害は、気象庁や地方自治体により警戒レベルが設定されております。

状況によっては、出勤は可能なのか、避難しなくてはいけないのか等の判断、リーダーや責任者への確認、またリーダーの役割を担う立場の人はお客様へ業務中止の相談が必要なケースが発生することもあります。

下記表は警戒レベルの対応一覧です。判断基準として、ご参考になさってください。

避難情報等 (警戒レベル)			河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	河川水位や雨の情報(河川)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2 氾濫注意情報	---
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 ---	---

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。



## 連絡方法の確認

緊急事態が発生した場合、リーダーや職場への連絡方法を今一度再確認しておきましょう。

## おわりに

『天災は忘れたころにやってくる』という諺があります。いざという時に慌てない様に、通勤経路・避難経路・連絡手段の確認をしておきましょう。